

平成30年2月1日（木）難波～今宮戎駅間高架下に  
ボン ホテル  
アンテナホテル 「**BON HOSTEL**」 開業

南海電気鉄道株式会社（取締役社長兼CEO：遠北光彦、以下「南海電鉄」）は、株式会社百戦錬磨（代表取締役社長：上山康博、以下「百戦錬磨」）と連携し、大阪市浪速区の鉄道高架下スペースを有効活用したカフェ&バー併設のアンテナホテル「**BON HOSTEL**（ボン ホテル）」を平成30年2月1日（木）に開業予定です。

南海電鉄では、高架下を商業施設として活用したまちづくりプロジェクト「なんばEKKANプロジェクト」を平成26年から進めてきました。今般、合法的な民泊事業の先駆者としてインバウンド事業を手がける百戦錬磨とともに、当社初の取組みとして、高架下における宿泊施設の開発を実施します。これは、南海電鉄と百戦錬磨が連携して取り組む高架下まちづくりソリューションとしても初の事例になります。

詳細は別紙のとおりです。



「**BON HOSTEL**」外観イメージ

※本日「**BON HOSTEL**」に関するリリースを、百戦錬磨から同時公開しています。

## 別紙

## 「BON HOSTEL」の概要

1. 名称 BON HOSTEL (ボン ホステル)
2. 開業 平成30年2月1日(木)
3. 所在地 大阪府大阪市浪速区敷津東3丁目1番3(代表地番)
4. 交通 ◆南海電鉄 難波駅徒歩9分、今宮戎駅徒歩3分  
◆大阪市営地下鉄 大国町駅徒歩7分
5. 敷地面積 1,021.78㎡(309.09坪)
6. 建物面積 824.60㎡(249.44坪)
7. 規模・構造 鉄骨造1階建
8. 収容人数 110人
9. 客室数 個室タイプ:3人用2室・4人用1室  
ドミトリタイプ:6人部屋12室・7人部屋4室
10. 特徴 カフェバー・発酵食レストラン「Bon menu (ボンメニュー)」を併設。  
また、独自のプラットフォームを活用して、大阪近郊ならではの着地型観光コンテンツや農業体験型民泊、宿坊をはじめとする施設の紹介など「ディープなローカル体験」の情報提供のほか、宿泊者と地域住民との交流会なども実施予定。
11. 運営 株式会社百戦錬磨



施設内イメージ:「BON HOSTEL」の客室(左)、カフェ&バー「Bon menu」(中央・右)

### <参考:アンテナホステルとは>

「訪日外国人旅行者と地方を繋ぐ交流拠点」をコンセプトとした、「ホステル(ゲストハウス)」業態の宿泊施設を指します。人や地域との出会いや交流を求めて世界各地から訪れる、特に情報拡散力のあるフラッシュパッカーなどをターゲットとし、濃密な情報交換・発信の「場」として機能することを目指します。

民泊・農泊を起点として、地域活性化を主眼に事業活動を行う百戦錬磨の強みである地域ネットワークや「STAY JAPAN」\*の宿泊予約プラットフォームを活かし、タビナカでの着地型観光コンテンツや上記サイト掲載中の農泊施設など「ディープな日本のローカル体験」の情報提供を行い、近郊の地域活性はもちろん、地方の旅行需要喚起を図ります。

\*百戦錬磨が運営する民泊・宿泊施設予約サイト (URL: <https://stayjapan.com/>)

### <参考:南海電鉄と百戦錬磨について>

株式会社池田泉州銀行、阪急電鉄株式会社、南海電気鉄道株式会社及び池田泉州キャピタル株式会社の4社が共同で出資した「SI創業応援ファンド投資事業有限責任組合」は、百戦錬磨に対し、平成28年4月28日付けで1,000万円の投資を実行しました。当ファンドでは、資金面でのサポートを行うとともに、「百戦錬磨」が展開する民泊プラットフォームを通じて、民泊サービスの健全な普及を図り、外国人の訪日を促進し、関西の新たなインバウンド需要の開拓並びに観光産業の発展、雇用の創出を推進します。